

補助金評価シート

区分	重点 (重点以外)	補助根拠	法令補助 ・ (その他補助)	開始時期	平成26年4月1日	終期	平成29年3月31日
補助事業名 [下段に制度概要を記載]	農業近代化資金利子補給金 農業者の金利負担の軽減を図るため、農業近代化資金の借入者に対し利子補給を行う。						
款・項・目	農業水産業費・農業費・農業総務費						
所属等	農林水産部 農業政策課 担い手育成室			電話025-226-1768			

年 度		26年度(1年目)	27年度(2年目)	28年度(3年目)
予算額等の推移	予算(千円)	247	180	132
	決算(千円)	110	80	132
補助率		利子に対し0.05%~0.35%	利子に対し0.05%~0.35%	利子に対し0.05%~0.35%
目 標		新規件数 5件/年 <目標が数値でない場合の評価方法>		
目標に対する達成度(指標)	達成率100%以上			
	達成率 80%以上			
	達成率 50%以上			
	達成率 50%未満	0.0% 0件	0.0% 0件	0.0% 0件
	目標が非数値化 ※取扱基準に記載した評価手法に基づく達成度について記入してください			
補助事業者による情報の公表		可能な限り新潟市からの補助金を受けている旨を表示する。		

評価欄	チェック	a. 補助対象経費は事業の直接経費となっているか	○	e. 指標の推移が維持・向上しているか	×
		b. 補助率は1/2以内か	×	f. 補助事業者による情報の公表は適正に行われているか	○
		c. 補助額が5万円以上になっているか	×	g. 目標は数値化されているか	○
		d. 収入が過剰になっていないか(繰越金が生じていないか)	○	h. 目標は補助金の成果を検証しやすい設定か	○
	×になった項目に対する今後の取組	<a~fにおける取組> 本事業は、農業近代化資金の貸付利率に対し、認定農業者においては借入負担率0.5%、その他の農業者においては1%を上限に利子補給するものである。今後も低利資金の融通ができる旨をPRしていく。 <g~hにおける取組>			
目標未達成の原因分析	<期間(3年)を通して目標達成率80%未満の場合、なぜ達成できなかったか> 近代化資金の借入者はいたが、基準金利が低いため市の助成を必要とする者がいなかった。 貸付金額が高額で償還期間が長期の場合、市の助成対象となる場合も出てくるが、全農の実施している無利子化制度を活用しており、本助成は活用されていない。				
① 拡充・改善 (補助率, 補助額, 補助対象経費, その他) ② 継続 ③ 廃止 ①~③の評価理由 ※目標未達成の原因分析に該当の場合はその要因を踏まえて今後どうするのかを記載すること 本事業は、借入者の農業経営の近代化を図るため、農業生産施設や農業機械等の整備に必要な資金を長期かつ低利で借り受けできるものである。今後も借入の見込みがあること、また、利子補給対象期間が残っていることから、継続して利子補給を行う。					